

よく似た造りの3基の古墳

はっこう
八紘古墳群

総社市山田

八紘古墳群は総社市西部に位置する古墳時代後期（6世紀後半～7世紀前半）の古墳群です。現在21基の古墳が確認できますが、もともとは30基近い数の古墳があったと推定されています。そのうち4基（4～6・8号墳）を主要地方道倉敷美袋線道路改築に伴って発掘調査しました。

墳裾を接するように並んでいる4～6号墳は、横穴式石室をもつ直径12m前後、高さ約2mの円墳です。4号墳の横穴式石室は3基の中で一番大きく、遺体を埋葬する玄室は最大幅1.7m、長さ4.5mあります。奥壁には横160cm、縦160cm、厚さ40cm以上の大きな石を立てており、床には大小の平石をきれいに敷いています。壁際には須恵器の平瓶と高杯が2個ずつ置いてありました。また、鉄製の鏃（弓矢の先）が1点出土しました。一方、4号墳の墳丘からは石列と石積みが発見されました。石列は古墳全面の墳裾に40～50cm大の石を並べたもので、古墳の境を際立たせ、古



八紘4号墳（南から）



八紘4～6号墳（南上空から）

墳を立派に見せています。石積みは盛り土の内部から発見され、10～20cm大の石を5～6段ほど石垣のように積んでいます。盛り土をして古墳をつくる過程で土留めとして積んだものと考えられます。このような石列や石積みは5・6号墳にも確認されていることから、3基の古墳は非常によく似た造り方をしているといえます。（物部茂樹）



須恵器出土状況（4号墳）



墳裾の石列（4号墳）



石積み（4号墳）



石積み（5号墳）

平成20年度から始まった、一般県道服部停車場線道路改築に伴う発掘調査も、2年目に突入しました。今年度4月から9月まで調査を行った、南溝手遺跡C区は、今まで調査してきた路線内で、最も遺構密度の高い調査区です。縄文時代晩期から近世にかけての遺構を検出し、特に弥生時代中期以降、安定した居住域であったようです。範囲は、調査区南端に位置する微高地下がりをも南限とし、調査区北側に掘削された幅1.2m、深さ40cmの溝を北限とする、南北約90mを想定することができ、竪穴住居・建物・井戸・土壇・貯蔵穴などが分布しています。この内、3軒確認した竪穴住居は、数回の改修・改築を繰り返しつつ、弥生時代後期前半から古墳時代初頭まで、微妙に時期をずらしながら建てられたことが分かりました。

最も新しいNo.12竪穴住居（古墳時代初頭）は、平面形が五角形で、周囲には高床部と呼ばれる、中心部より20cm高い段が巡ります。住居の柱が立てられた穴は、高床部内の各角で確認できるので、5本の柱によって屋根が支えられていたと考えられます。この様な「多角形住居」は、山陰地方を中心に分布し、時期は弥生時代後期から古墳時代前期が中心です。岡山県でも、現在までに10例ほど確認でき、平面形も五角形から八角形と様々です。いずれにせよ、竪穴住居の平面形が、円形から方形へと変化する時期、弥生時代から古墳時代へと大きく時代が変わる時期に現れる、過渡期の住居形態といえるでしょう。

さる6月28日(日)、現地説明会を開催いたしました。当日は晴天に恵まれ、180名もの方々の参加をいただき、活気あふれる説明会となりました。ご参加ありがとうございました。（松尾佳子）



南溝手遺跡C区全景（南から）



No.12竪穴住居（南から）



現地説明会の様子

たますたなか
田益田中遺跡

岡山市北区田益

岡山市の北郊、山陽自動車道岡山インターチェンジの北側にある田益田中遺跡は、平成7～9年に国立病院機構岡山医療センターの建設に先立って発掘調査が実施され、縄文時代～弥生時代にわたる川の跡や、弥生時代～江戸時代に営まれた集落跡が見つかりました。ことに、弥生時代前期の川の跡から出土した、人の顔をかたどった土器は、県内でも最古の資料として注目を集めました。



江戸時代の水田跡

病棟新築に伴う今回の調査でも、やはり縄文時代の川の跡や弥生時代の土壌・溝、中世の建物などが見つかっています。

ところで、岡山医療センターが建設される以前、この一帯には津高条里と呼ばれる東西南北を約100m四方に区切った地割が広がっていました。この地割は、津田永忠が益井池の跡に新田を開いた寛文年間（17世紀後半）には既に存在していたことは分かっていたが、このたびの調査によって、さらに室町時代（14～16世紀）にまでさかのぼる可能性が強まり、津高条里を検討する一つの手がかりが得られました。

（亀山行雄）



縄文時代の川の跡

みまさかこくふ
美作国府跡

津山市山北

今年度の調査区は美作国府跡推定政庁域の東南に位置します。奈良時代から平安時代末頃を中心とした遺構、遺物が確認できました。なかでも、1基の井戸は、深さ約4mで木組みの井戸枠が残っており、4か年の調査の中で最深のものとなりました。井戸枠は一辺1.1mの方形で、約3mの縦板を掘り方に据えて内側から横桟でとめていました。縦板は厚みのある材を用いており、一方の先端に抉りが入れられていました。この抉りは縦板を運搬する際に、縄を掛けるのに用いられたのではないかと考えています。この井戸からは土師器、勝間田焼、白磁や櫛、曲物等の木製品が出土しており、平安時代末頃に埋められたとと考えています。

（梅村大輔）



井戸を掘り下げる様子



木組みの井戸枠

うばがさこ
姥ヶ辻遺跡

津山市市場

津山市北東部、那岐山麓に形成された低丘陵の頂部から斜面にかけて広がる遺跡です。一般県道三浦勝北線道路改築に伴い発掘調査を実施しました。県内最大級のため池、塩手池の北西岸にあたり、遺跡の南西部分は平成16年度に調査され、古墳時代の竪穴住居が見つかりました。

今年度は、尾根の頂部から北側の谷部にかけて調査を行いました。丘陵頂部では、古墳時代前期の竪穴住居を検出しました。長辺5.5m、短辺4.5mの長方形で床面には広範囲に被熱箇所が見られました。柱穴は床面には設けられず、壁際に2本ありました。このほか、同時期の掘立柱建物や段状遺構などが見つかりました。遺物は、古墳時代の土師器のほかに、縄文時代早期の押型文土器や石鏃も出土しました。

一方、丘陵北側の谷部には上方から流れ込んだ土が厚く堆積し、弥生土器や古墳時代の土師器・須恵器などが出土しており、調査地を含む丘陵上に断続的に集落が営まれていたと考えられます。

（谷川真基）



古墳時代の竪穴住居（北西から）



掘立柱建物（北から）

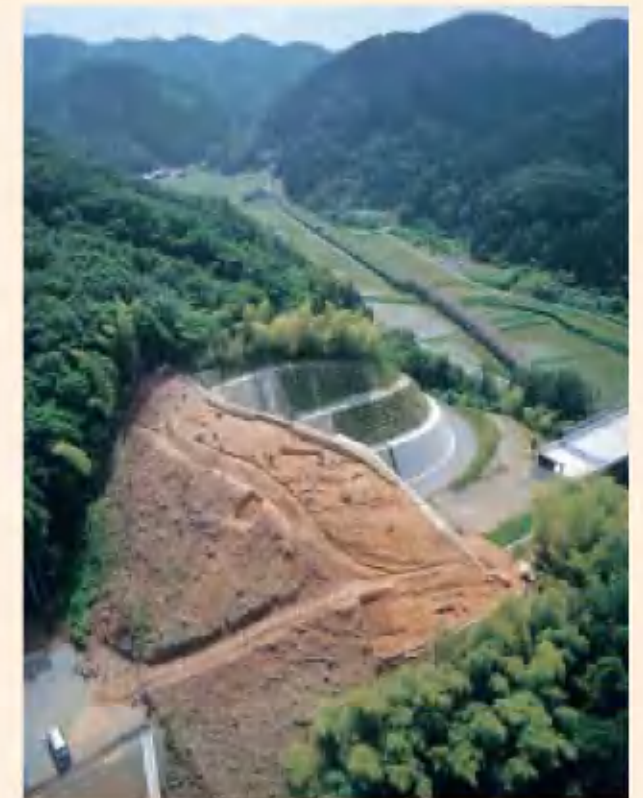
たかおが
高岡遺跡

美作市宮本

中国横断自動車道姫路鳥取線（鳥取自動車道）建設に先立って、4月から6月まで調査を行いました。この高岡遺跡は、丘陵上に広がる弥生時代後期後半（約1,800年前頃）の集落跡です。平成17年に丘陵の南半分を調査しており、残り北半分の調査を行いました。

調査では、段状遺構と呼んでいる丘陵斜面部を掘り窪ませた跡が何か所も見つかりました。この段状遺構の役割ははっきりとはわかりませんが、柱穴が見つかることもあることから簡易な屋根で覆った作業場や倉庫、あるいは屋根のない通路などではないかと考えています。すでに調査した南半分で見つかった竪穴住居や貯蔵用の穴などの様子とともに、丘陵上の一つの小さな集落の全体像を描くことができそうです。今回の調査で、平成15年から始まった鳥取自動車道関連の旧大原町内の発掘調査は終了しました。これまでに行った調査成果とあわせて、この地域の歴史を紐解く鍵になるでしょう。

（大橋雅也）



空から見た高岡遺跡（北西から）



津島やよい広場 岡山市北区いずみ町（県総合グラウンド内）

この3月、津島やよい広場の整備が完了しました。当時の様子を体感できるよう心がけて、竪穴住居や水田などを復元しています。ぜひ、機会があればお立ち寄り下さい。

また、津島遺跡のことをより知っていただくため、小学校など団体で見学に来られる場合には、当センターの職員や遺跡&スポーツミュージアムのスタッフが説明を行っています。講座や体験教室なども開いていますので、関心のある方はホームページなどをご覧ください。



石器づくり体験

展示室から —平成21年度の企画展示—



前期企画展の様子

センターの展示室では今年度前期企画展として「最近刊行された報告書から」を4月22日～9月15日まで開催しました（下表）。現在は後期企画展として「海を越えた交流」を開催していますので、ぜひお越しください。

前期企画展	百間川今谷遺跡	ガラス滓、木製容器、弧帯文器台
	中島遺跡	景德鎮磁器、織部焼、瀬戸美濃天目椀
	国長遺跡	風字硯、白磁、青磁、石帯
	天神河原遺跡	須恵器、硯
	中撫川遺跡	青磁、緑釉陶器、土馬、須恵器、碁石
後期企画展	南溝手遺跡	縄文土器（靱痕・孔列文）
	百間川原尾島遺跡	磨製石剣、ファイアンス小玉
	上東遺跡	弥生土器、貨泉、ト骨、瓦質土器
	高塚遺跡	陶質土器、軟質土器、須恵器、土師器
	斎富遺跡	陶質土器、須恵器、紡錘車
	西山古墳群	馬具（轡・鐙）、銀象嵌鏝

中島遺跡から出土した磁器など

主な展示遺物

大地からの便り2009

今回で21回目となる発掘調査報告会を8月22日（土）に県立博物館で開催しました。当日は180名の方の参加があり、熱心に各遺跡の報告を聴いていただきました。

また、報告展として7月24日から9月6日までの期間、報告遺跡から出土した遺物の展示を県博で行いました。



報告会の様子



報告展の様子

<報告・展示の遺跡>

- ①上原遺跡・長良小田中遺跡（総社市） 総社市教育委員会
- ②竹林寺天文台遺跡（浅口市・矢掛町） 浅口市教育委員会
- ③鹿田遺跡（岡山市） 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター
- ④伊福定国前遺跡（岡山市） 県古代吉備文化財センター
- ⑤備前国分寺跡（赤磐市） 赤磐市教育委員会
- ⑥美作国府跡（津山市） 県古代吉備文化財センター
- ⑦史跡岡山城跡本丸下の段（岡山市） 岡山市教育委員会

最近刊行された報告書

平成21年3月発行分

「岡山県埋蔵文化財発掘調査報告」217『百間川今谷遺跡4』（岡山市）

弥生～古墳時代を中心とする集落と水田跡。溝からは農耕具、紡織具、容器など多くの木製品が出土。

「岡山県埋蔵文化財発掘調査報告」218『八塚古墳群』（赤磐市）

2基の横穴式石室墳。墳丘に石列や石積みを伴う特異な構造をもつ。武器、馬具など豊富な副葬品。

「岡山県埋蔵文化財発掘調査報告」219『鍛冶屋D遺跡』（岡山市）

縄文～弥生時代を中心とする集落遺跡。縄文時代としては県下2例目の漆塗り堅櫛が出土。

「岡山県埋蔵文化財発掘調査報告」220『中撫川遺跡3』（岡山市）

弥生時代～中・近世にいたる集落遺跡。青磁、緑釉陶器、土馬、硯、碁石などの出土が目される。

「岡山県埋蔵文化財発掘調査報告」221『中島遺跡 宮南遺跡 国長遺跡 天神河原遺跡』（岡山市）

古代～中世の集落跡。戦国時代の「中島城」と推定される方形の堀を伴う居館跡を発見。

「岡山県埋蔵文化財発掘調査報告」222『延寿寺跡 倉ヶ市遺跡 下土田遺跡』（岡山市）

「備中国足守荘絵図」記載の延寿寺推定地周辺の調査。古代～中世の集落跡を確認。

「岡山県埋蔵文化財発掘調査報告」223『特別名勝・国指定史跡 岡山後楽園』（岡山市）

特別名勝岡山後楽園の排水樋門の調査。17世紀末ごろの木製樋管がほぼ完存。

平成21年度の組織と業務

所長	次長	総務課	総務班	施設維持・管理、庶務、会計
	参事	調査第一課	第一班	普及啓発、収蔵管理、市町村指導、県内遺跡確認調査
			第二班	調査活用事業【鬼城山】〈発掘調査・報告書作成〉
		調査第二課	第一班	主要地方道倉敷美袋線道路改築【八紘古墳群】〈発掘調査・報告書作成〉
			第二班	主要地方道岡山吉井線（美作岡山道路）道路改築【宇屋古墳ほか】〈発掘調査〉 一般県道服部停車場線道路改築【南溝手遺跡ほか】〈発掘調査〉 独立行政法人国立病院機構岡山医療センター病棟等新築整備工事【田益田中遺跡】 〈発掘調査・報告書作成〉
		調査第三課	第一班	一般県道三浦勝北線道路改築【姥ヶ谷遺跡】〈発掘調査・報告書作成〉 一般国道374号（美作岡山道路）道路改築【大河内遺跡ほか】〈発掘調査〉 都市計画道路大谷一宮線街路改築【美作国府跡】〈発掘調査・報告書作成〉
			第二班	中国横断自動車道姫路鳥取線（鳥取自動車道）建設【高岡遺跡】〈発掘調査・報告書作成〉 主要地方道岡山吉井線（美作岡山道路）道路改築【小塚の谷古墳ほか】〈報告書作成〉 主要地方道佐伯長船線（美作岡山道路）道路改築【婦本路古墳群】〈報告書作成〉 一般県道吉備津松島線道路改築【上東中嶋遺跡】〈報告書作成〉

＜職員＞

所長	児仁井克一
次長	小林 勝
(総務課長事務取扱)	
参事	中野 雅美
総務課	
総務班	
総括副参事(班長)	上田 利弘
主任	中島 忍
主事	堤 弘至
	行守 智和
	武井 淳子
	池上 充
	大島 奈々
臨時職員	
調査第一課	
課長	江見 正己
第一班	
総括主幹(班長)	高田恭一郎
主任	渡邊恵里子
	重根 弘和

主任	團 奈歩
	和田 剛
	(7月～)
	米田 克彦
	(文化財課本務)
	竹下 鎌史
臨時職員	
第二班	
総括主任(班長)	尾上 元規
主任	岡本 泰典
主事	石田 爲成
調査第二課	
課長	島崎 東
第一班	
総括主任(班長)	物部 茂樹
主任	小嶋 善邦
主事	白木 亨
第二班	
総括副参事(班長)	岡本 寛久
主幹	亀山 行雄

主任	杉山 一雄
	松尾 佳子
	和田 剛
	(～6月)
主事	高山 沙織
	川島 正嗣
	(7月～)
調査第三課	
課長	宇垣 匡雅
第一班	
総括副参事(班長)	内藤 善史
主任	氏平 昭則
	小林 利晴
	谷川 真基
	梅村 大輔
主事	
第二班	
総括主幹(班長)	大橋 雅也
主幹	柴田 英樹
主任	上栴 武



メールマガジン「大地からの便り」読者募集中!



編集・発行 岡山県古代吉備文化財センター

所在地 〒701-0136 岡山市北区西花尻1325-3
 TEL (086) 293-3211 FAX (086) 293-0142
<http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/kodai/kodaik.htm>

- 交通案内 ・JR山陽本線庭瀬駅下車徒歩40分
 ・JR吉備線吉備津駅下車徒歩25分
- 業務時間 AM8:30～PM5:15
- 休業日 土・日曜日及び祝日、年末・年始
- 展示室の開館 AM9:00～PM5:00
 年末・年始を除き、土・日・祝日も開館しています。
 ただし、臨時に休館することがあります。

なくしていこう、差別・偏見・いじめ

